

ひとり親家庭の生活と意識に関する調査結果（概要）

1 調査目的

札幌市のひとり親家庭の現状を把握し、「札幌市ひとり親家庭等自立促進計画」の策定にあたっての基礎データを得るため。

2 調査期間

平成24年10月 1日（月）～平成24年10月16日（火）

3 調査対象世帯

市内居住者からひとり親世帯から無作為に抽出した2,850世帯。
（母子家庭2,000世帯、父子家庭450世帯、寡婦400世帯）

4 調査方法

郵送により実施

5 調査の回答状況

	調査対象	回答数	回答率
母子家庭	2,000人	761人	38.1%
父子家庭	450人	169人	37.6%
寡婦	400人	184人	46.0%
計	2,850人	1,114人	39.1%

6 結果概要

	母子家庭		父子家庭	
	札幌市	国	札幌市	国
1 世帯数	17,327世帯 (16,121)	123.8万世帯 (115.1)	1,600世帯 (1,508)	22.3万世帯 (24.1)
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 91.3% (90.7) 死別 1.3% (1.1)	離婚 80.8% (79.7) 死別 7.5% (9.7)	離婚 77.5% 死別 19.5%	離婚 74.3% (74.4) 死別 16.8% (22.1)
3 就業状況	80.3% (79.9)	80.6% (84.5)	83.4%	91.3% (97.5)
うち正規職員・従業員	36.2% (37.2)	39.4% (42.5)	54.6%	67.2% (72.2)
うち自営業	2.8% (3.7)	2.6% (4.0)	19.1%	15.6% (16.5)
うちパート・アルバイト等	46.3% (42.2)	47.4% (43.6)	14.9%	8.0% (3.6)
4 平均年間収入	300万円未満の割合 74.2% (81.8)	291万円 (213)	450万円未満の割合 85.8%	455万円 (421)
5 平均年間就労収入(ひとり親本人)	200万円未満の割合 66.2%	181万円 (171)	350万円未満の割合 76.5%	360万円 (398)

国は、「平成23年度全国母子世帯等実態調査」に基づく。

()内の数値は、前回(札幌市は平成19年、国は平成18年)の調査結果。なお、札幌市の父子家庭は前回未調査。

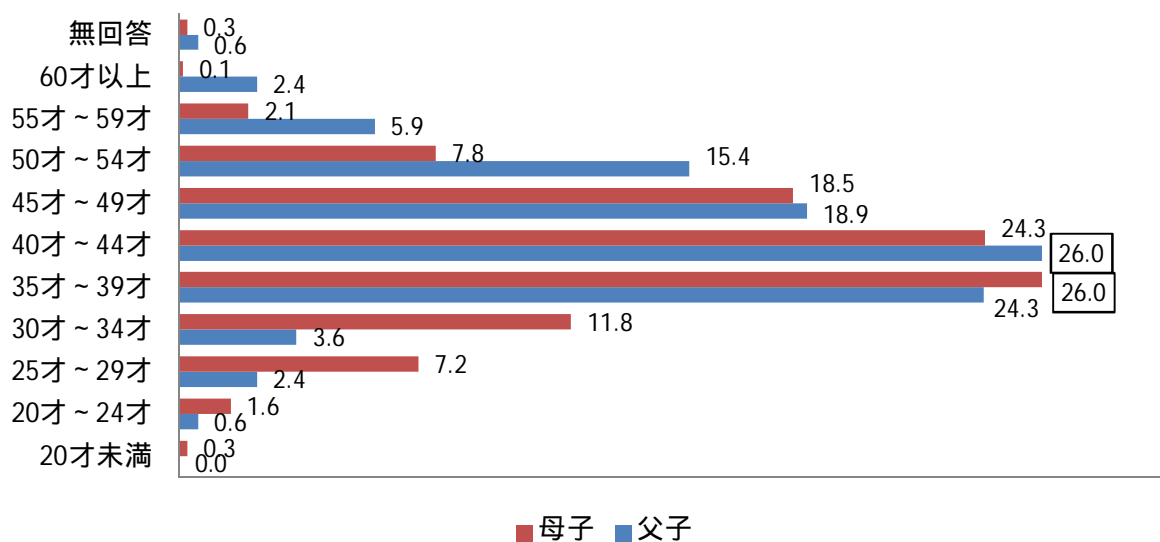
「1世帯数」は、平成22年国勢調査結果に基づく。同欄の()は、平成17年の国勢調査結果に基づく。

1 世帯の状況

()は前回平成19年調査結果。以下、同じ。

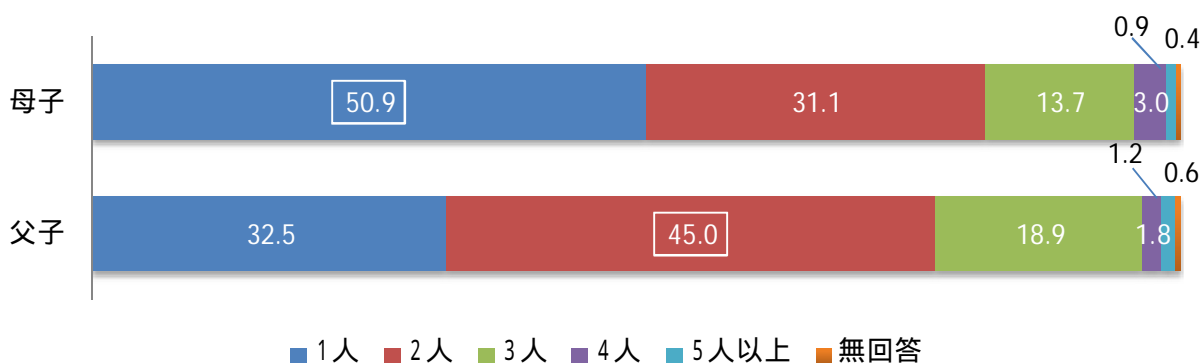
(1) 年齢状況

母子家庭で35～39歳代が26.0% (25.5%)。父子家庭で40～44歳代が26.0%と最多となっている。



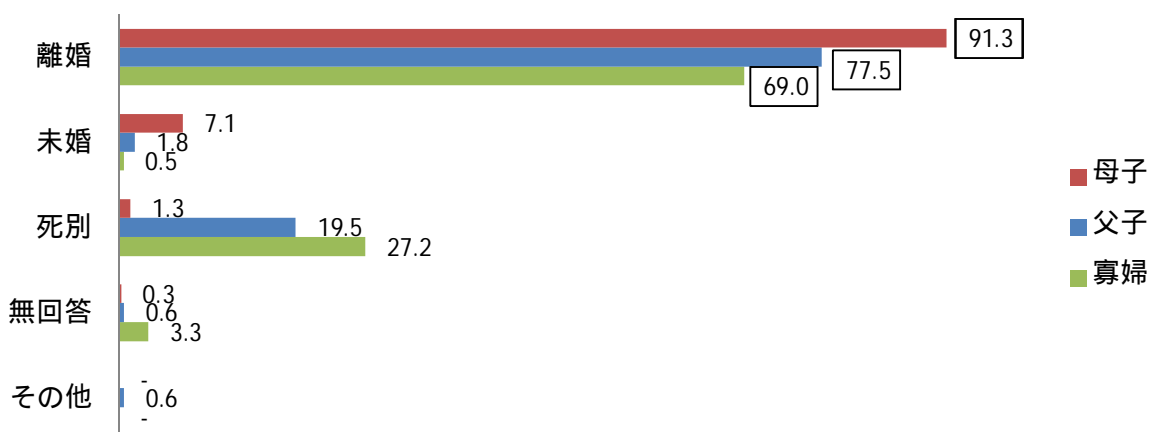
(2) 子どもの数

母子家庭で子ども1人が50.9% (50.7%)と最多で、父子家庭で子ども2人が45.0%で最多となっている。



(3) ひとり親家庭になった理由

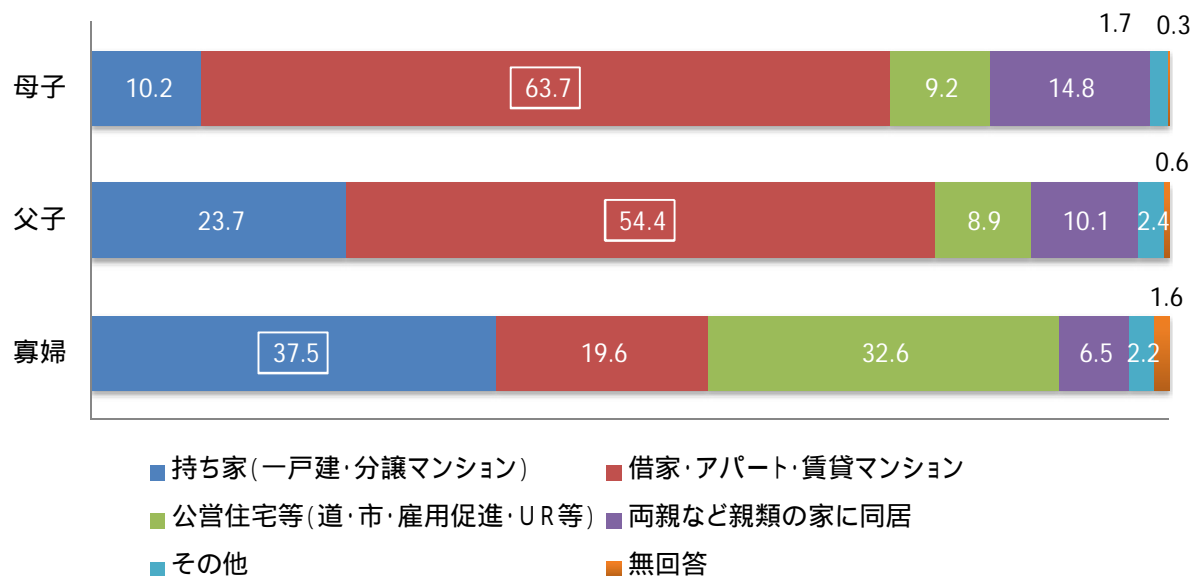
母子家庭で91.3% (90.7%)、父子家庭で77.5%、寡婦で69.0%が離婚と最多となっている。



2 住居の状況

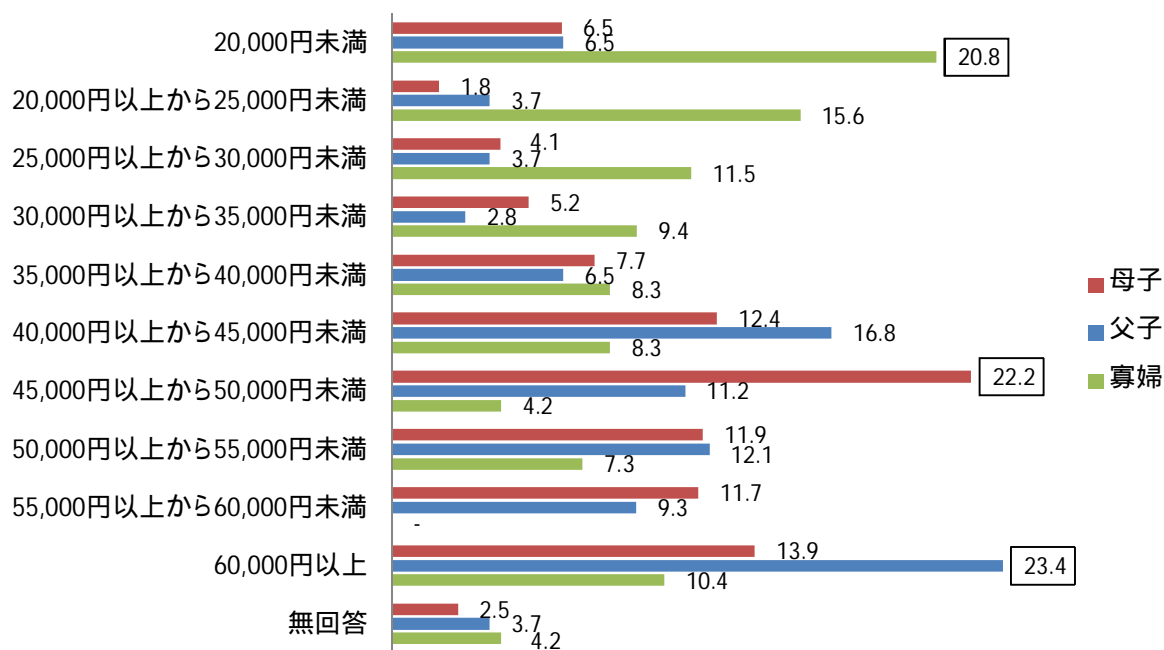
(1) 住まいの種類

借家・アパート・賃貸マンションが母子家庭で63.7% (58.4%)、父子家庭で54.4%と最多となっており、寡婦では持ち家が37.5% (42.1%)と最多となっている。



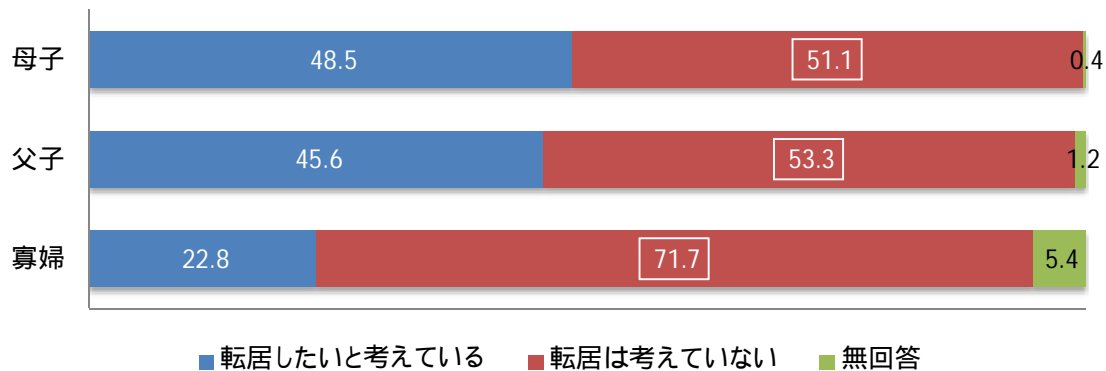
(2) 家賃の状況

母子家庭で45,000円以上50,000円未満が22.2% (18.2%)、父子家庭で60,000円以上23.4%が、寡婦では20,000円未満が20.8% (26.1%)と最多となっている。



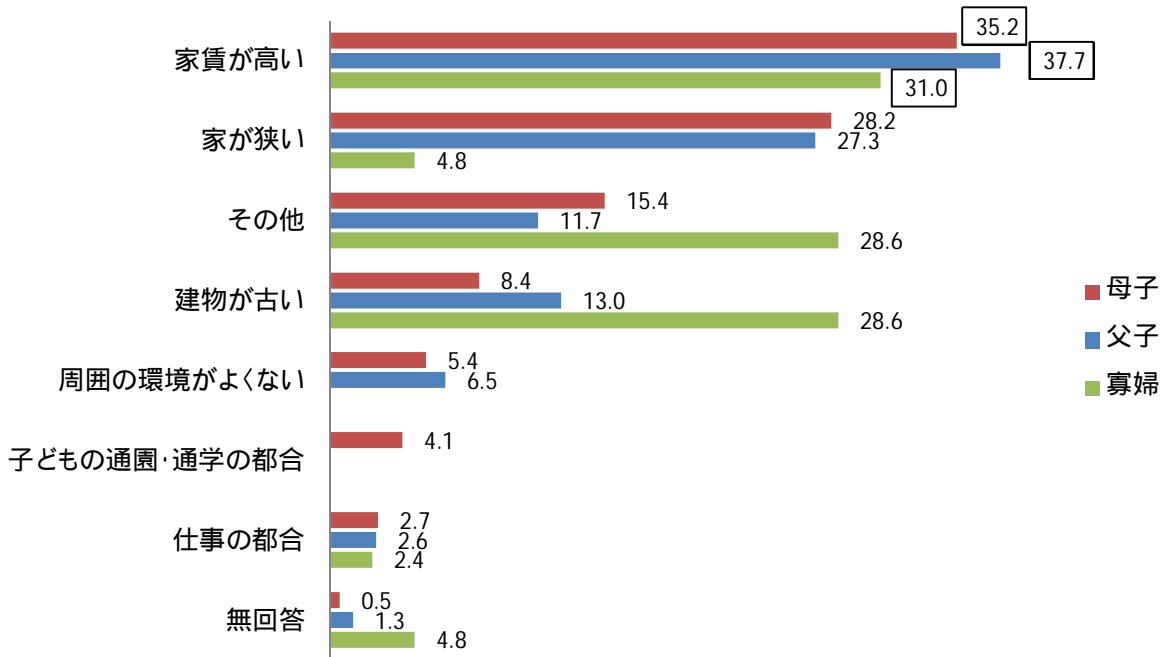
(3) 転居希望

母子家庭で48.5% (48.9%) が、父子家庭では45.6%が、寡婦では22.8% (25.0%) が転居を希望している。



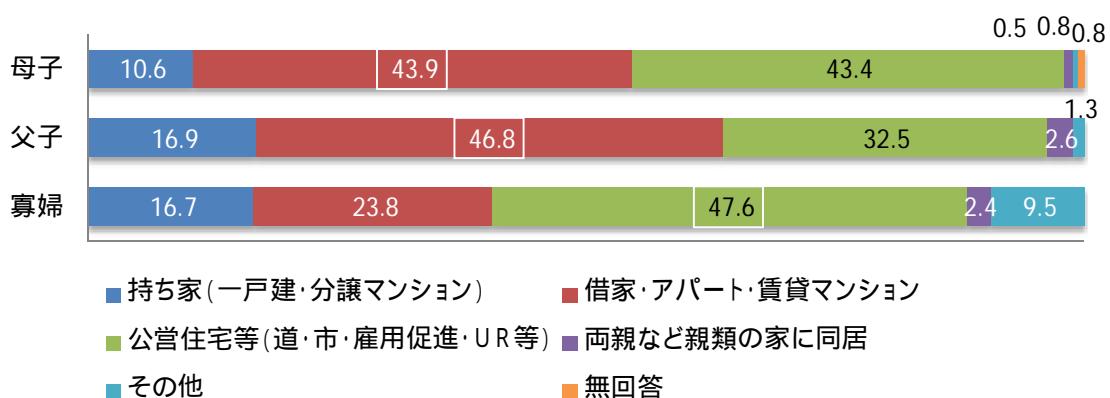
(4) 転居希望の理由

転居を希望するもののうち、母子家庭で35.2%、父子家庭では37.7%、寡婦では31.0%が家賃が高いことを理由とし最多となっている。



(5) 転居先の希望住居の形態

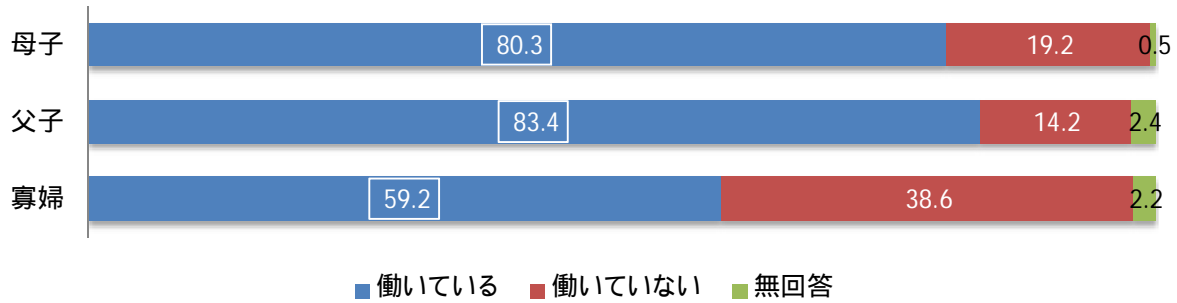
転居を希望しているもののうち、母子家庭で43.4% (57.4%) が、父子家庭では32.5%が、寡婦で47.6%が公営住宅等への転居を希望している。



3 就業の状況

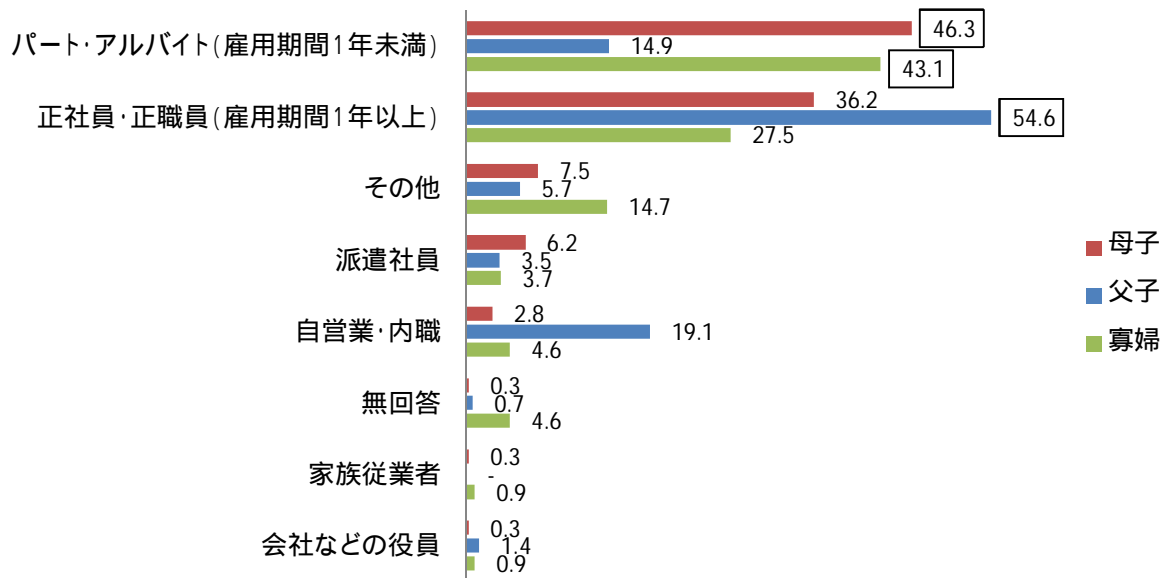
(1) 就業状況

母子家庭で就業しているのは80.3% (79.9%) で、父子家庭は83.4%、寡婦は59.2% (57.9%) となっている。



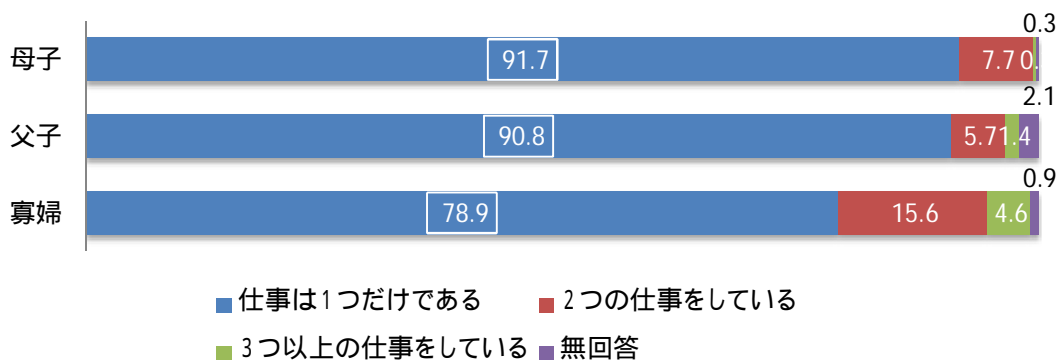
(2) 雇用形態

就業している者のうち、母子家庭でパート・アルバイトが46.3% (42.2%)、父子家庭で正社員・正職員が54.6%、寡婦でパート・アルバイトが46.3% (43.2%) と最多となっている。



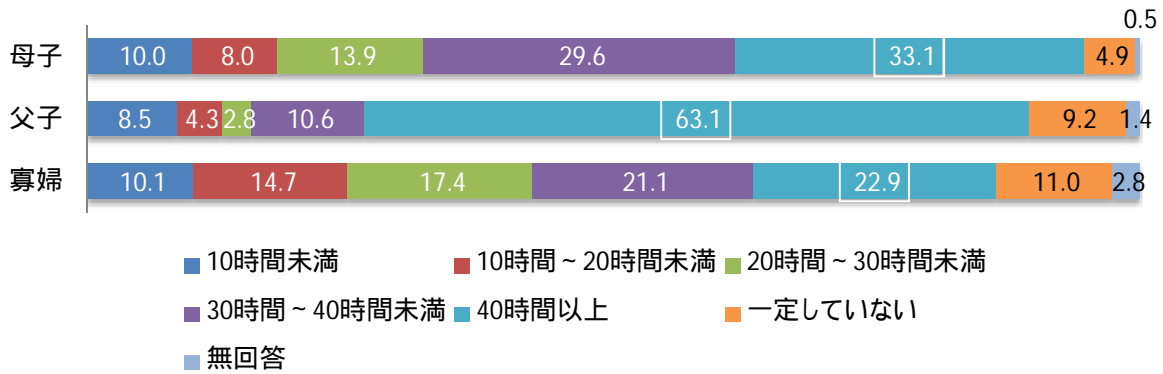
(3) 就業先の数

就業している者のうち、仕事の数が一つである母子家庭は91.7%、父子家庭で90.8%、寡婦で78.9%と最多となっている。



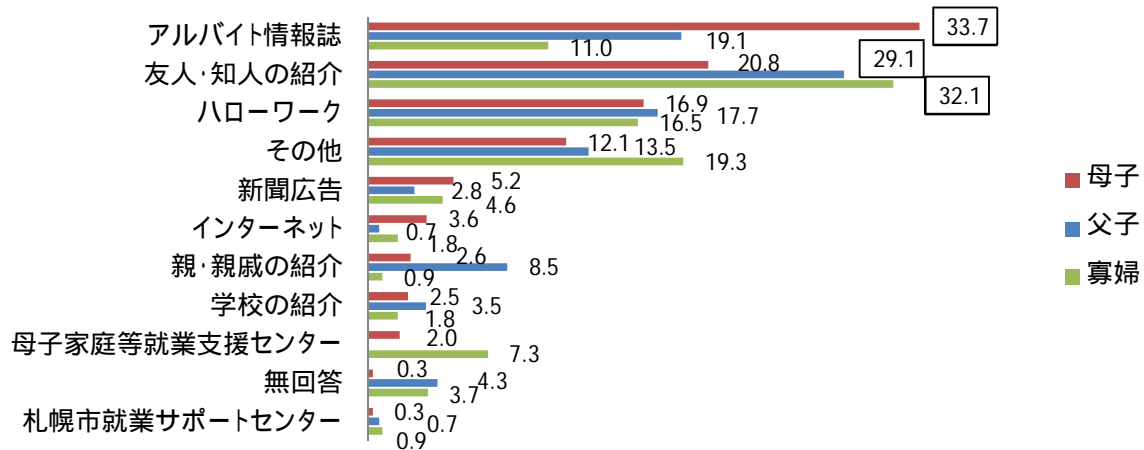
(4) 労働時間

最大の労働時間は、母子家庭で40時間以上が33.1%、父子家庭で40時間以上が63.1%、寡婦で40時間以上が22.9%と最多となっている。



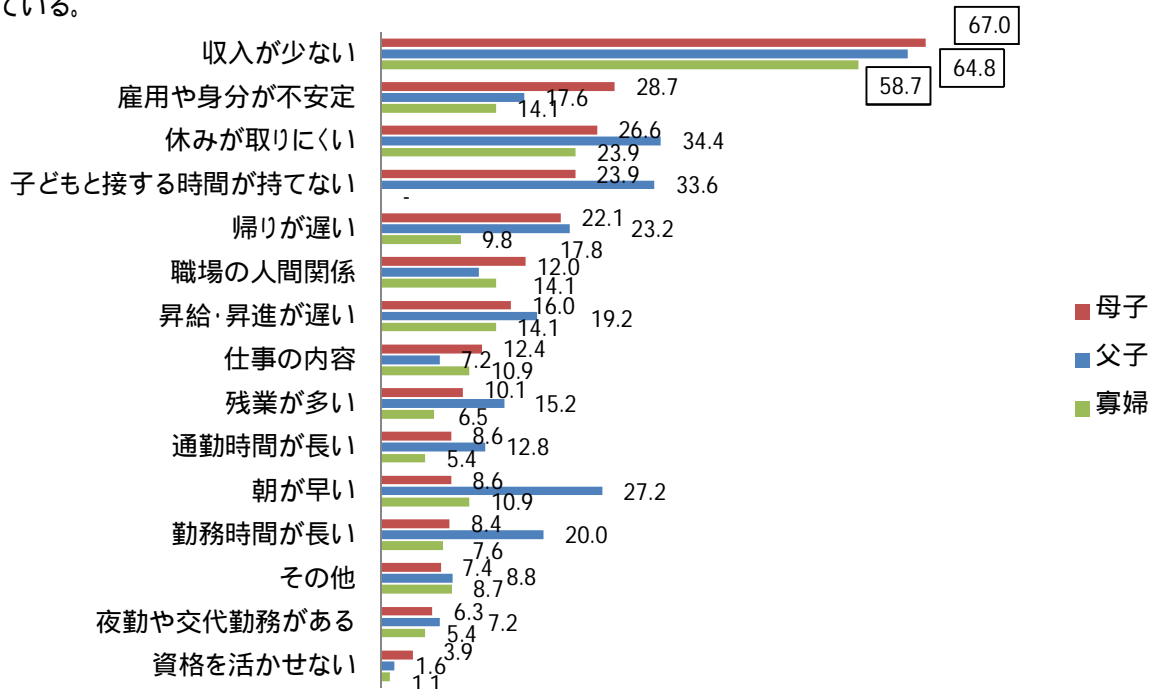
(5) 仕事の見つけ方

仕事を見つける際に利用したものは、母子家庭でアルバイト情報誌が33.7%、父子家庭で友人・知人の紹介が29.1%、寡婦で友人・知人の紹介が32.1%と最多となっている。



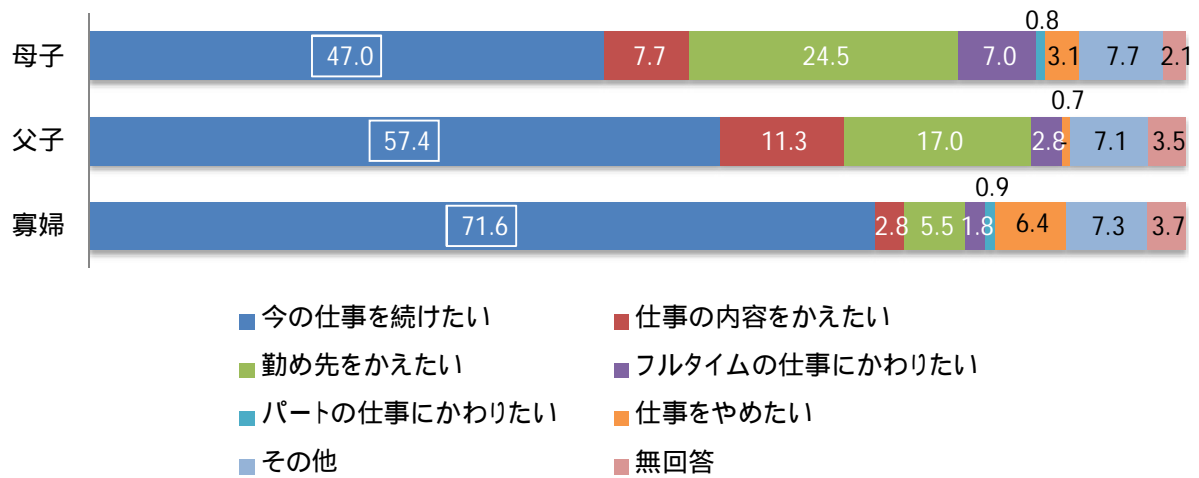
(6) 仕事についての悩みや不満

就業している母子家庭の67.0%、父子家庭の64.8%、寡婦の58.7%が収入が少ないことを悩みとして最多となっており、続いて母子家庭で雇用や身分が不安定、父子家庭、寡婦で休みがとりにくいことが悩みとなっている。



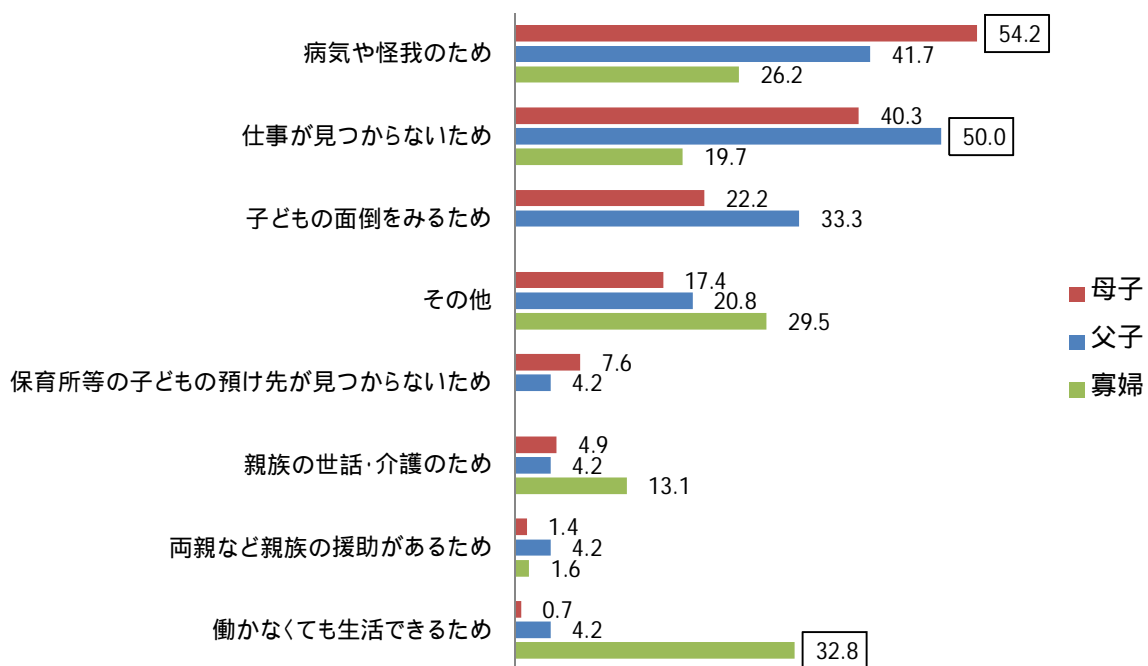
(7) 転職等の希望

仕事の内容をかえたい、勤め先をかえたい等の転職を希望しているのは、母子家庭で40.0%、父子家庭で31.1%、寡婦で11.0%となっている。



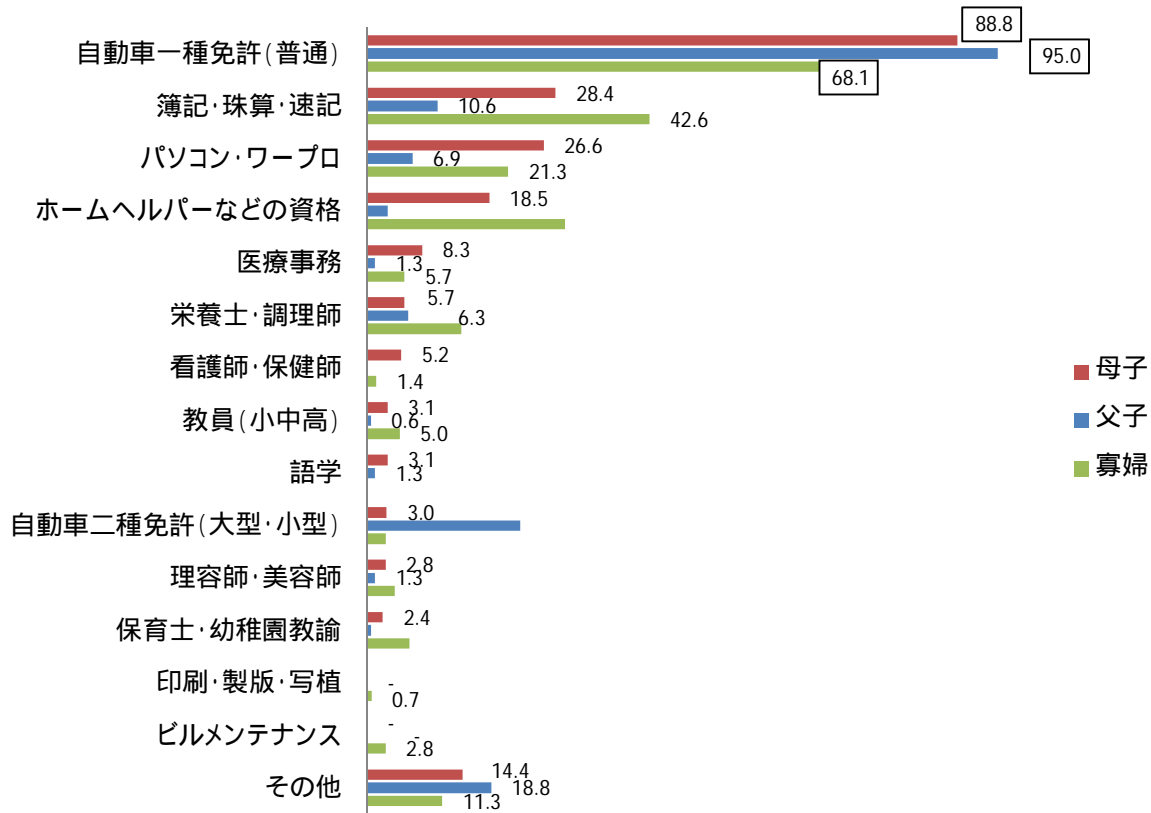
(8) 就業できない理由

就業できない理由は、母子家庭で病気や怪我のためが54.2%、父子家庭で仕事が見つからないためが50.0%、寡婦で働かなくても生活できるためが32.8%と最多となっている。



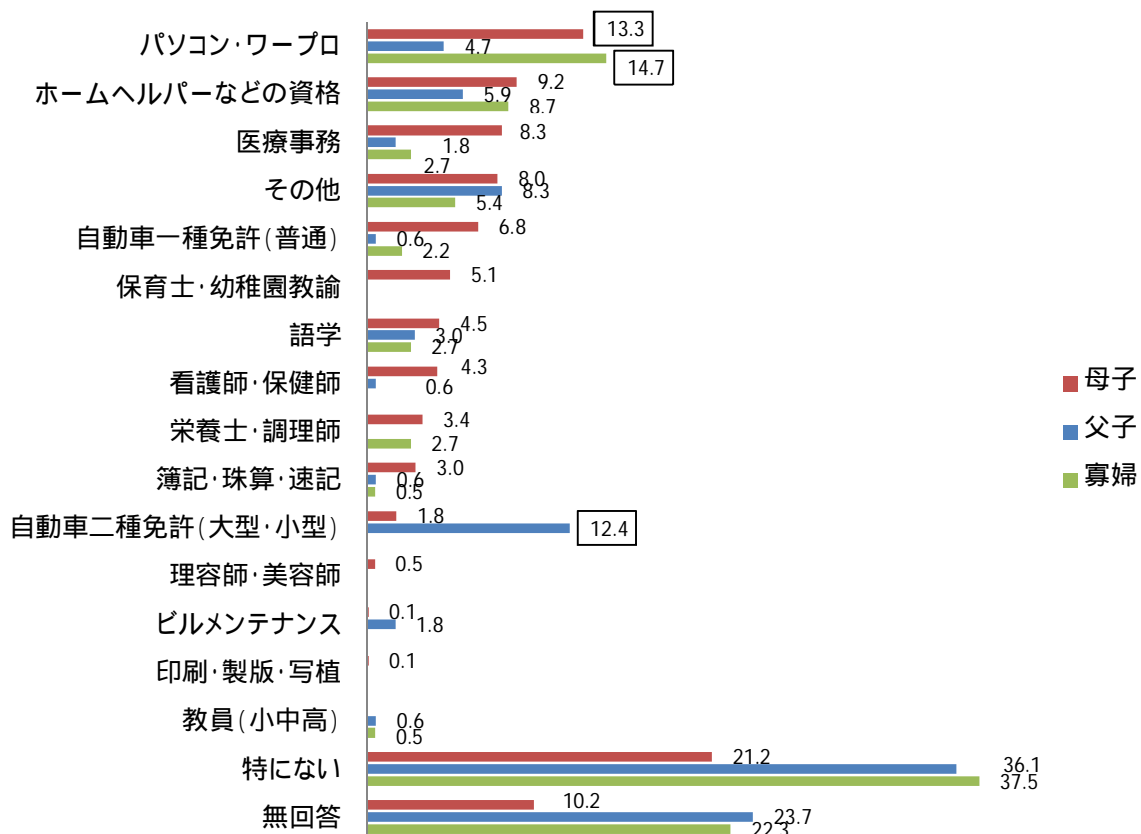
(9) 現在有している資格・免許

現在有している資格・免許は、自動車一種免許が、母子家庭で88.8%、父子家庭で95.0%、寡婦で68.1%と最多となっている。



(10) 今後取得したい資格・免許

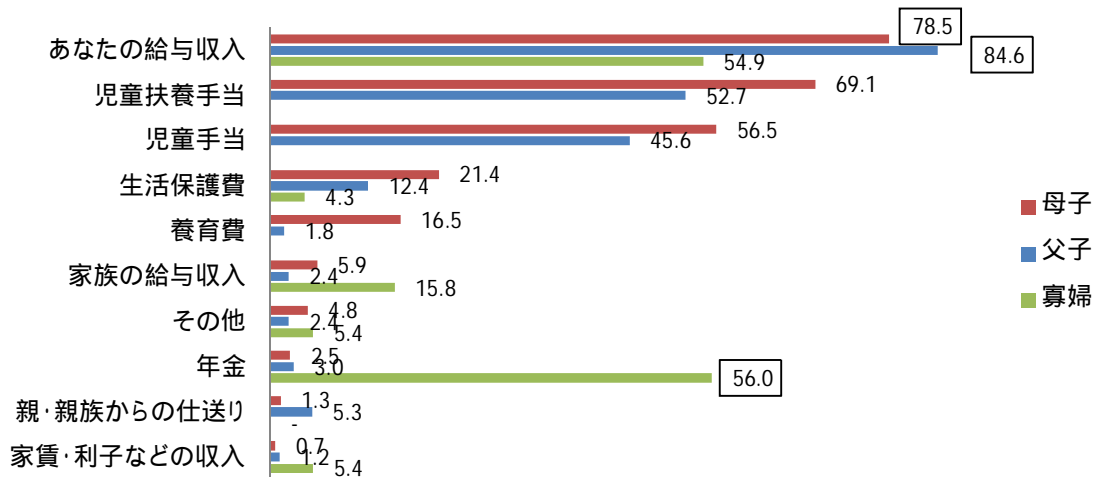
今後取得したい資格・免許は、特にないを除き、母子家庭でパソコン・ワープロが13.3%、父子家庭で自動車二種免許が12.4%、寡婦でパソコン・ワープロが14.7%と最多となっている。



4 収入の状況

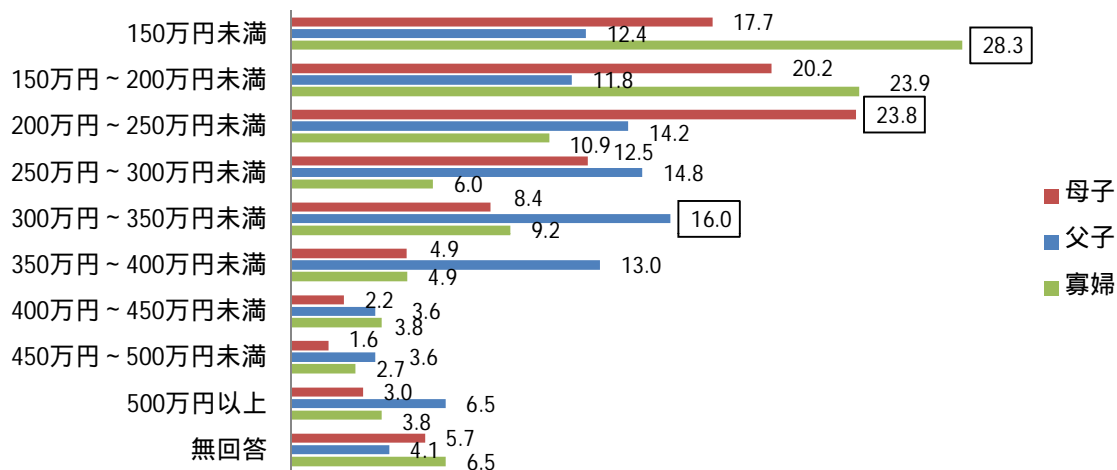
(1) 収入の内訳

収入の内訳では、自身の給与収入が母子家庭で78.5%、父子家庭で84.6%と最多となっており、寡婦では年金が56.0%と最多となっている。



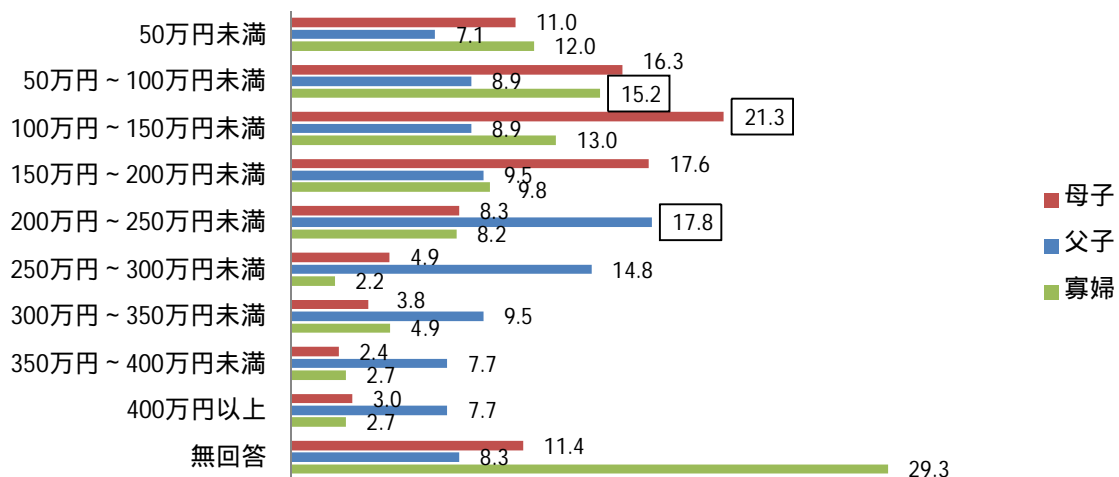
(2) 年間収入

母子家庭では200万円～250万円未満が23.8% (150～200万円未満27.4%)と最多で、父子家庭では300万円～350万円未満が16.0%、寡婦では150万円未満が28.3% (29.4%)と最多となっている。



(3) 就労収入

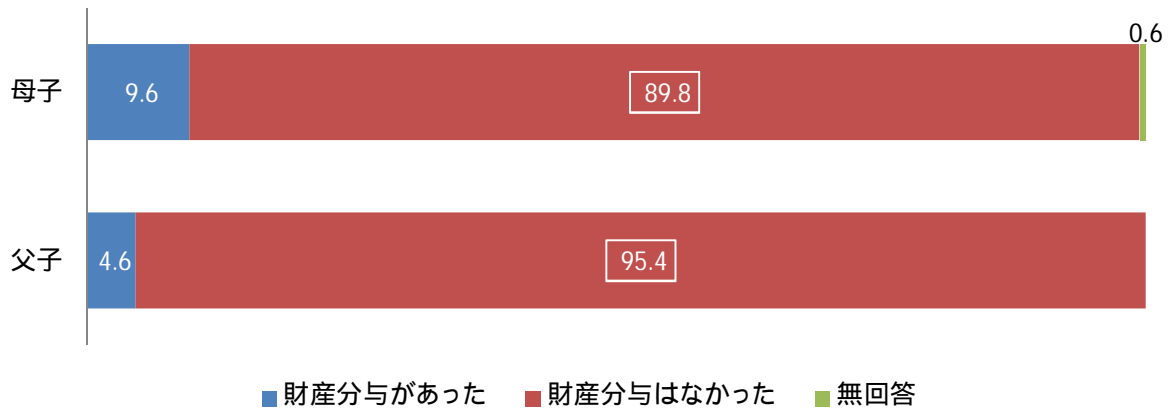
母子家庭で100万円～150万円未満が21.3%、父子家庭で200万円～250万円未満が17.8%、寡婦で50～100万円未満が15.2%と最多となっている。



5 養育費等

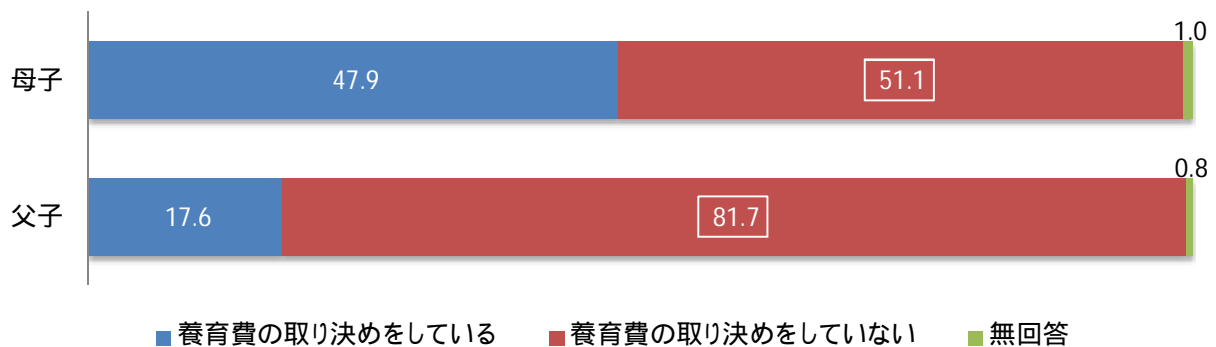
(1) 財産分与の状況

母子家庭で89.8%が、父子家庭で約95.4%が財産分与がなかった。



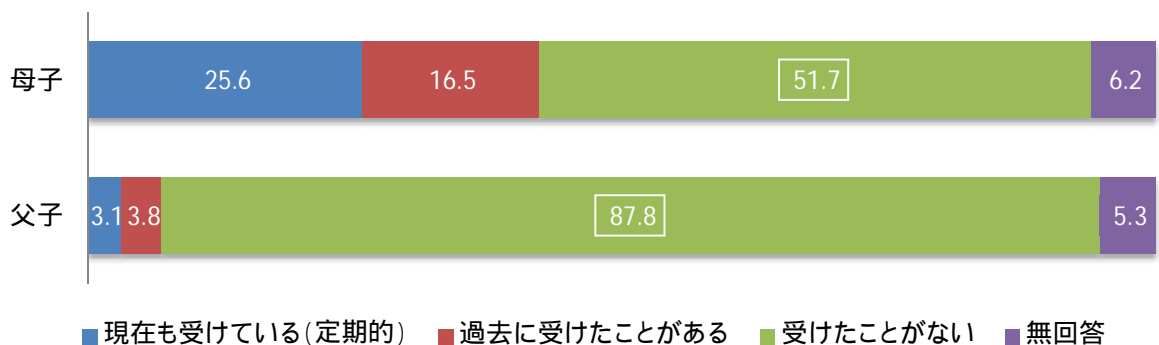
(2) 養育費の取り決め状況

母子家庭で51.1%が、父子家庭で約81.7%が養育費の取り決めをしていない。



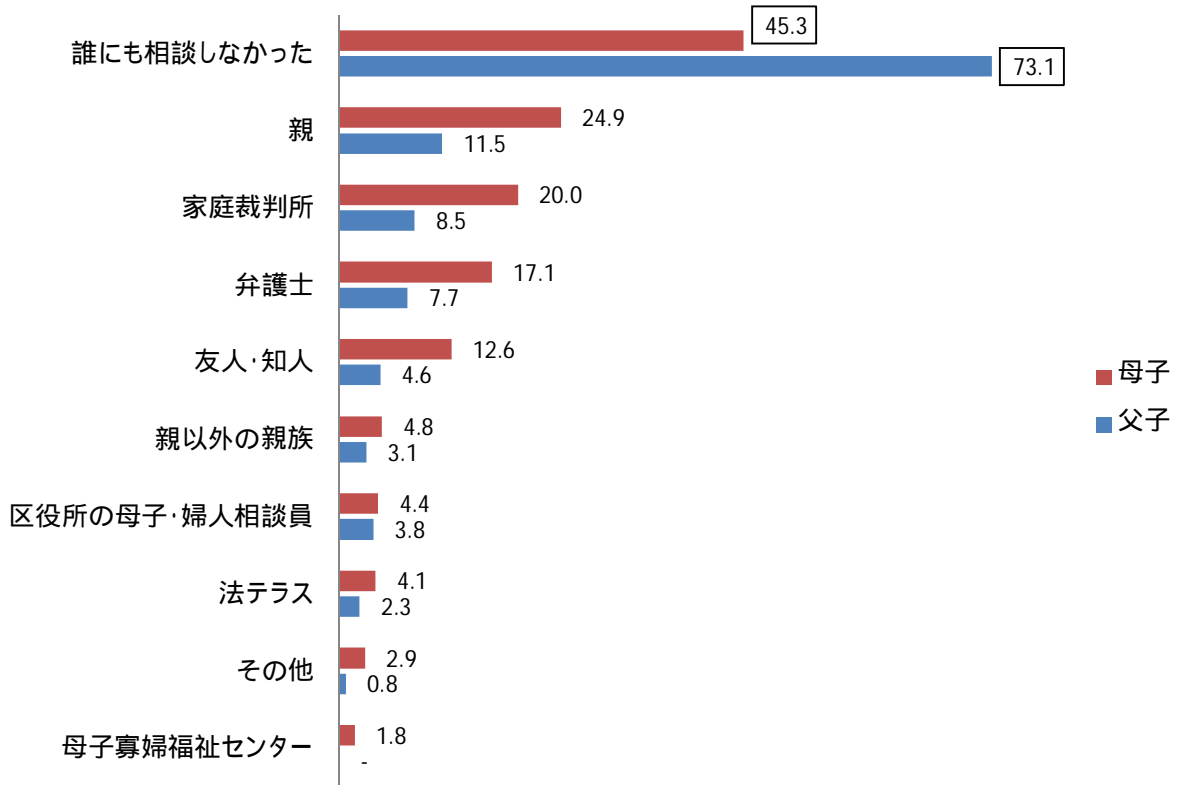
(3) 養育費の取得状況

母子家庭で51.7% (62.6%)が、父子家庭で約87.8%が養育費を受けたことがなく、最多となっている。



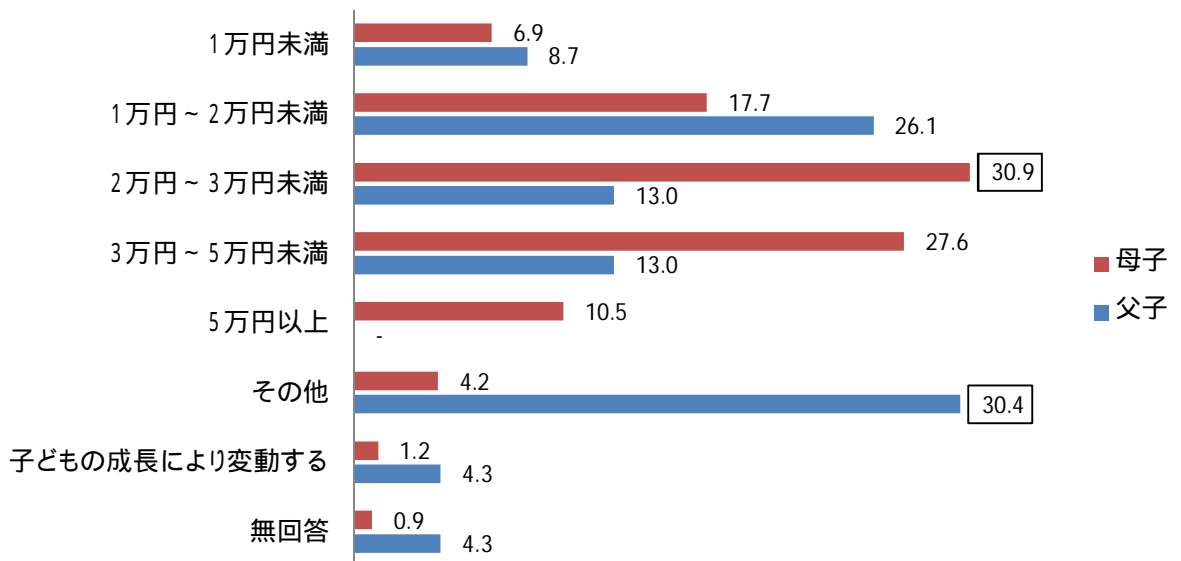
(4) 養育費の相談機関

養育費の取り決めに関して母子家庭で45.3%、父子家庭で73.1%が誰にも相談しておらず最多となっている。



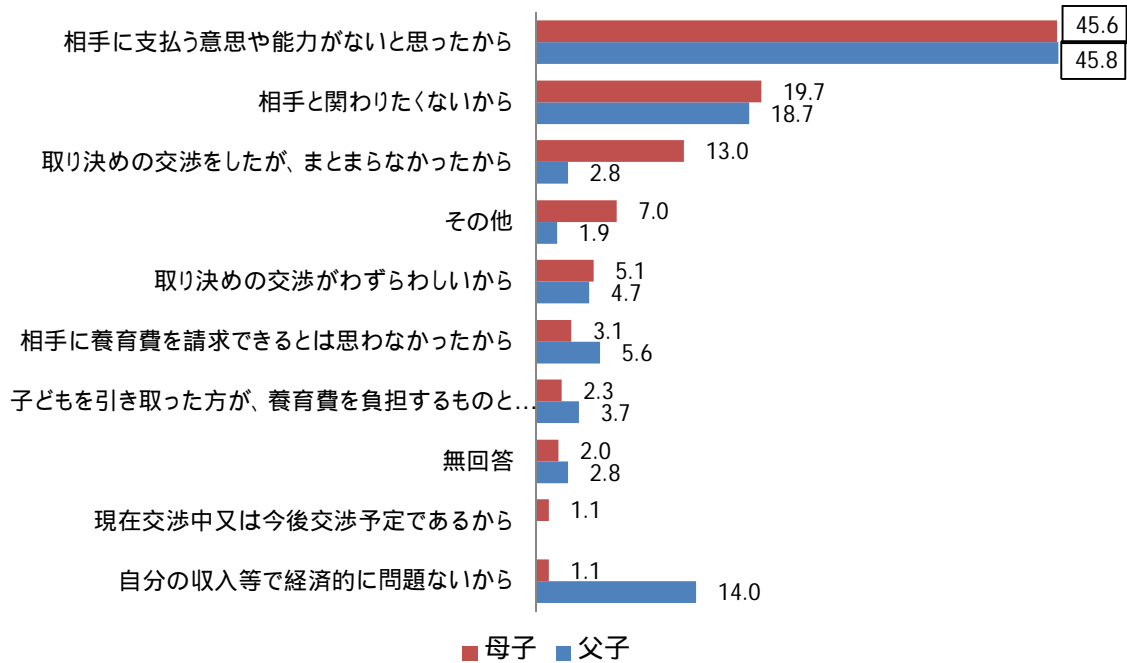
(5) 養育費の額

養育費の額は、母子家庭で2万円～3万円が30.9%となっており最多で、父子家庭ではその他を除き、1万円～2万円未満が26.1%と最多となっている。



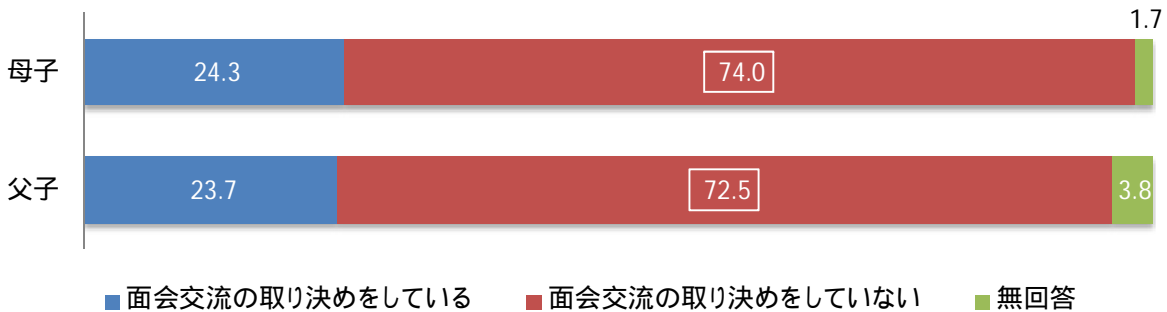
(6) 養育費の取り決めをしていない理由

相手に支払う意志や能力がないと思い養育費の取り決めをしていないのが、母子家庭で45.6%、父子家庭で45.8%で最多となっている。



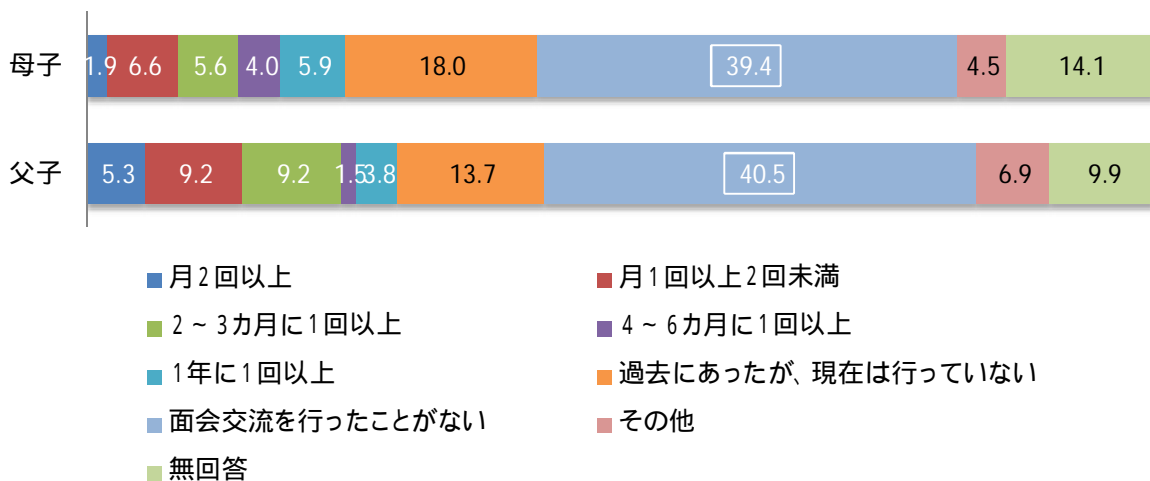
(7) 面会交流の取り決め状況

母子家庭で74.0%、父子家庭で72.5%が、面会交流の取り決めをしていない。



(8) 面会交流の実施状況

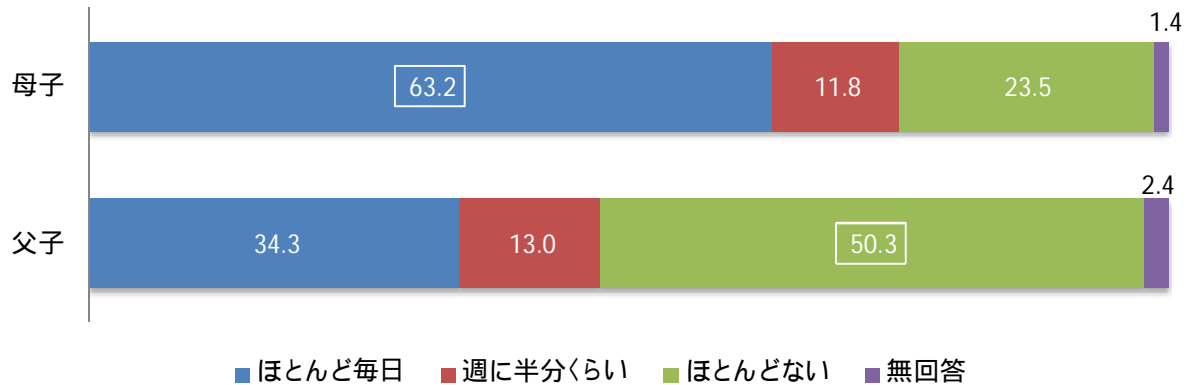
母子家庭は39.4%、父子家庭では40.5%が面会交流を行ったことがなく、最多となっている。



6 子育てについて

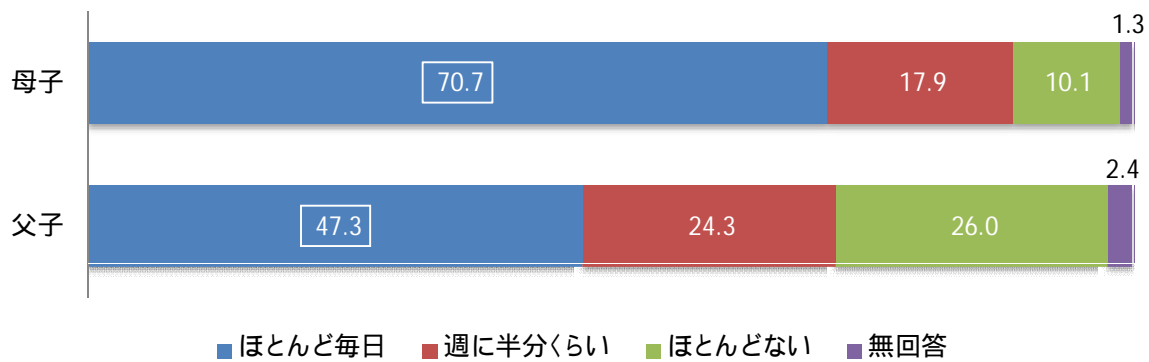
(1) 朝食時の過ごし方

母子家庭の63.2%は朝食を一緒にとっているが、父子家庭は50.3%が一緒にとる機会がほとんどない。



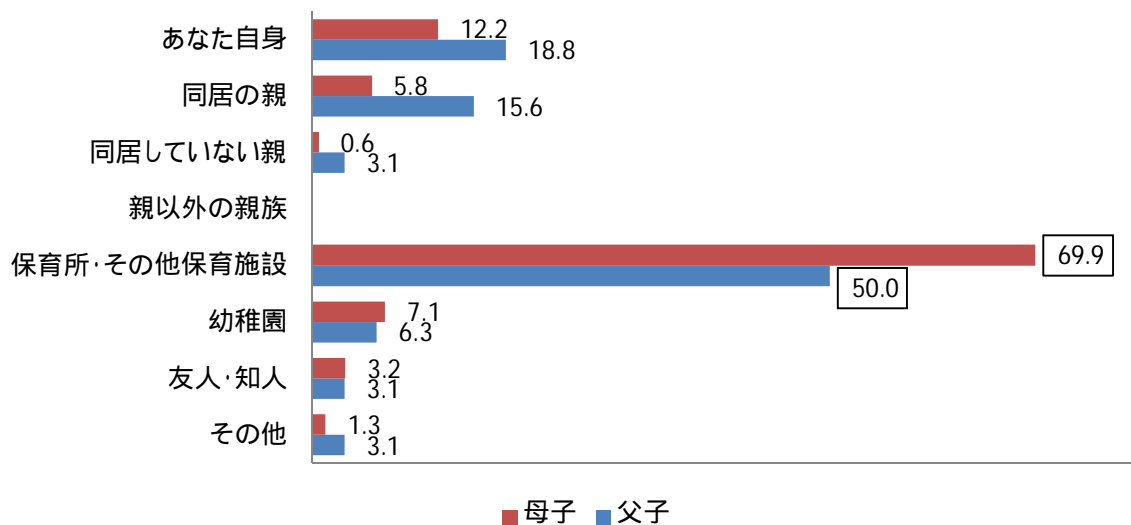
(2) 夕食時の過ごし方

母子家庭の70.7%は夕食を一緒にとっているが、父子家庭は47.3%となっている。



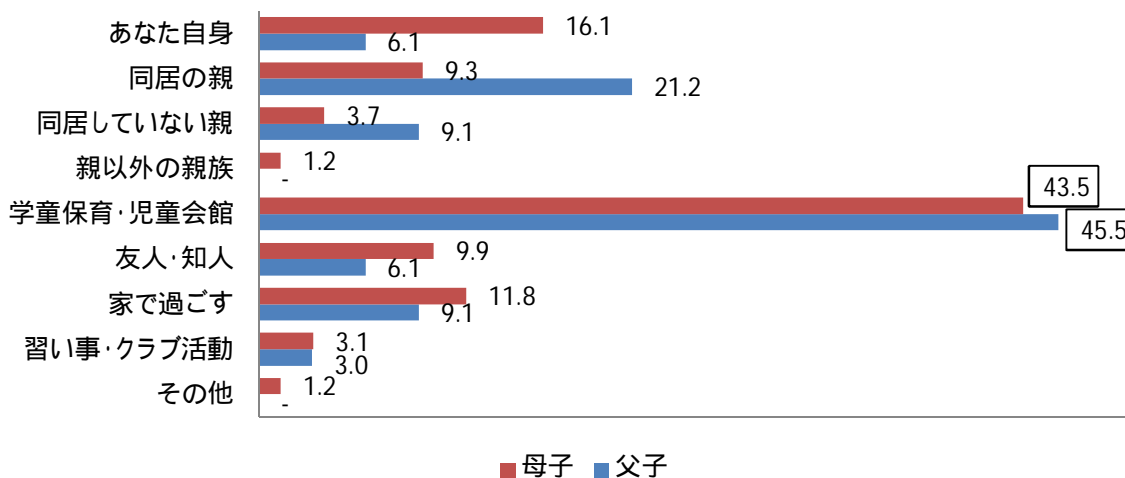
(3) 就学前の子の日中の過ごし方

就学前の子どもの過ごし方のうち、保育所・その他の保育施設としている母子家庭が69.9%、父子家庭が50.0%と最多となっている。



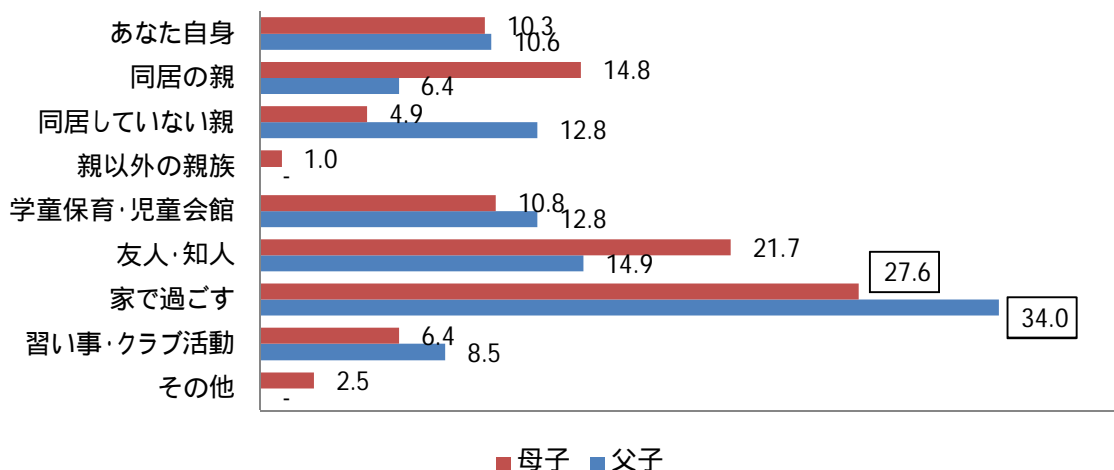
(4) 小学校低学年(1～3年)の放課後の過ごし方

小学校低学年の子どものお過ごし方のうち、学童保育・児童会館としている母子家庭が43.5%、父子家庭が45.5%と最多となっている。



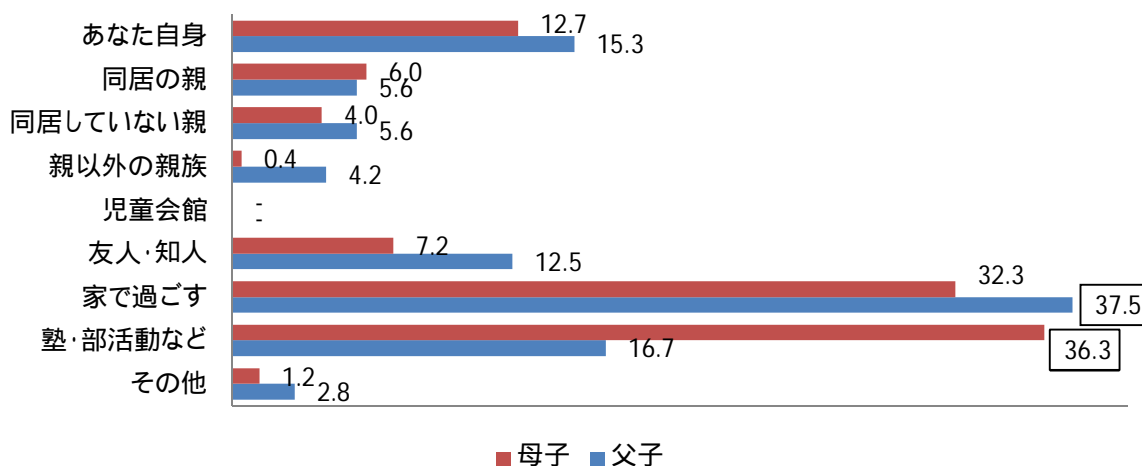
(5) 小学校高学年(4～6年)の放課後の過ごし方

小学校高学年の子どものお過ごし方のうち、家で過ごすとしている母子家庭が27.6%、父子家庭が34.0%と最多となっている。



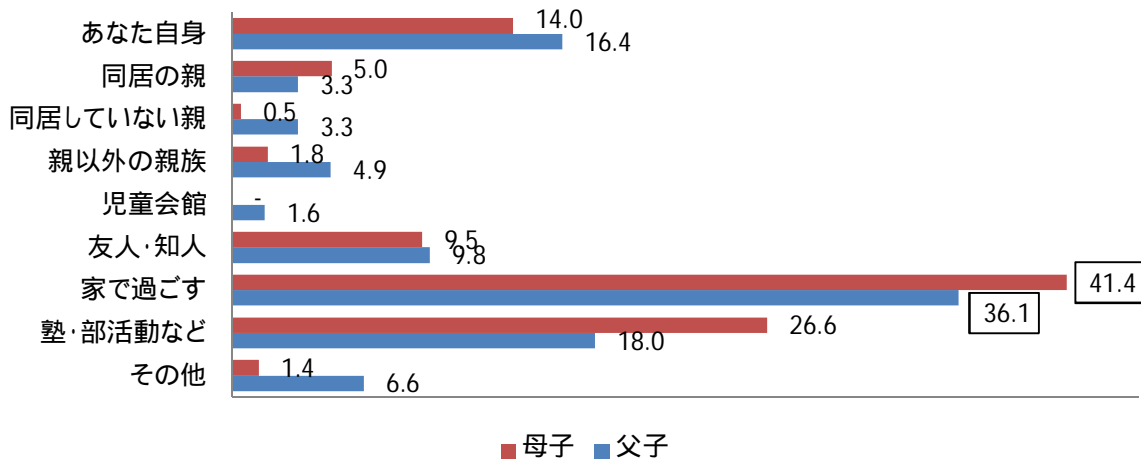
(6) 中学生の放課後の過ごし方

中学生の子どものお過ごし方のうち、母子家庭で塾・部活動が36.3%、父子家庭で家で過ごすのが37.5%と最多となっている。



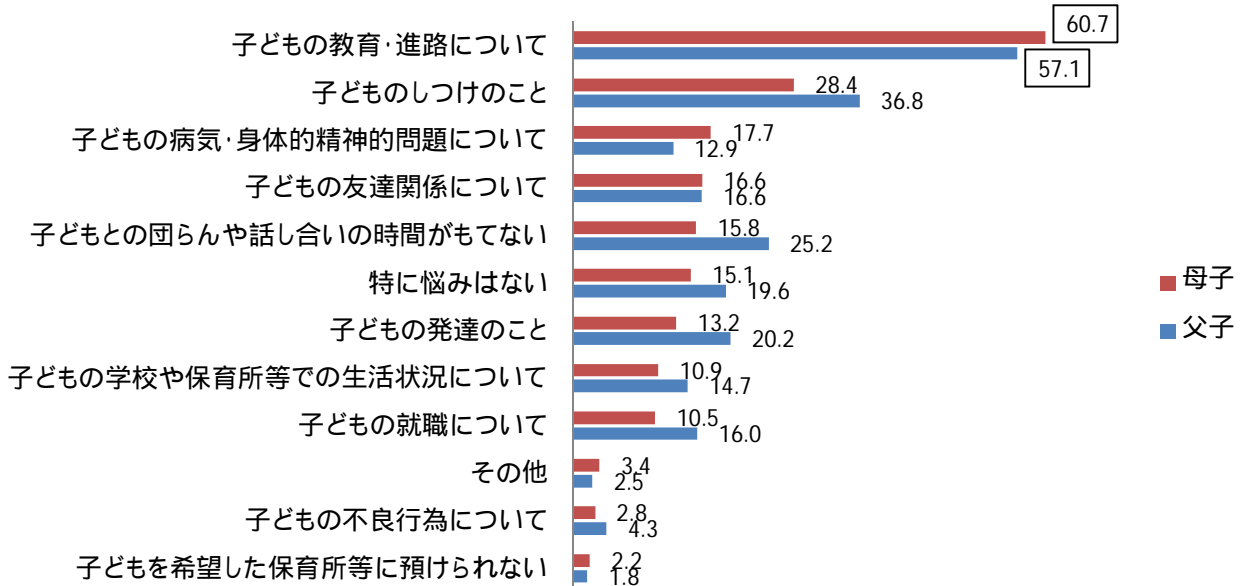
(7) 高校生の放課後の過ごし方

高校生の子どもの過ごし方のうち、家で過ごすとしている母子家庭が41.4%、父子家庭が36.1%と最多となっている。



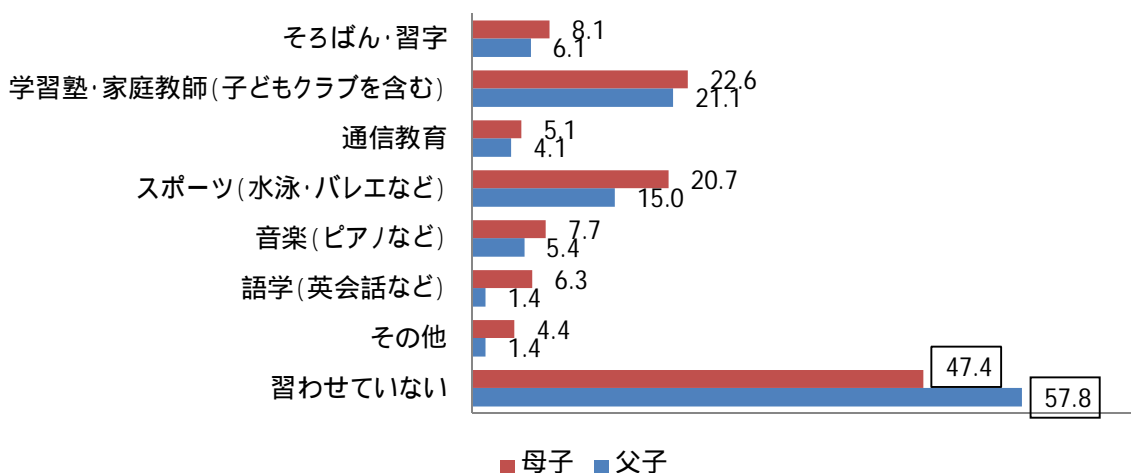
(8) 親の子どもに対する悩み

ひとり親の子どもに対する悩みについて、母子家庭で60.7%、父子家庭で57.1%が子どもの教育・進路としており最多となっている。



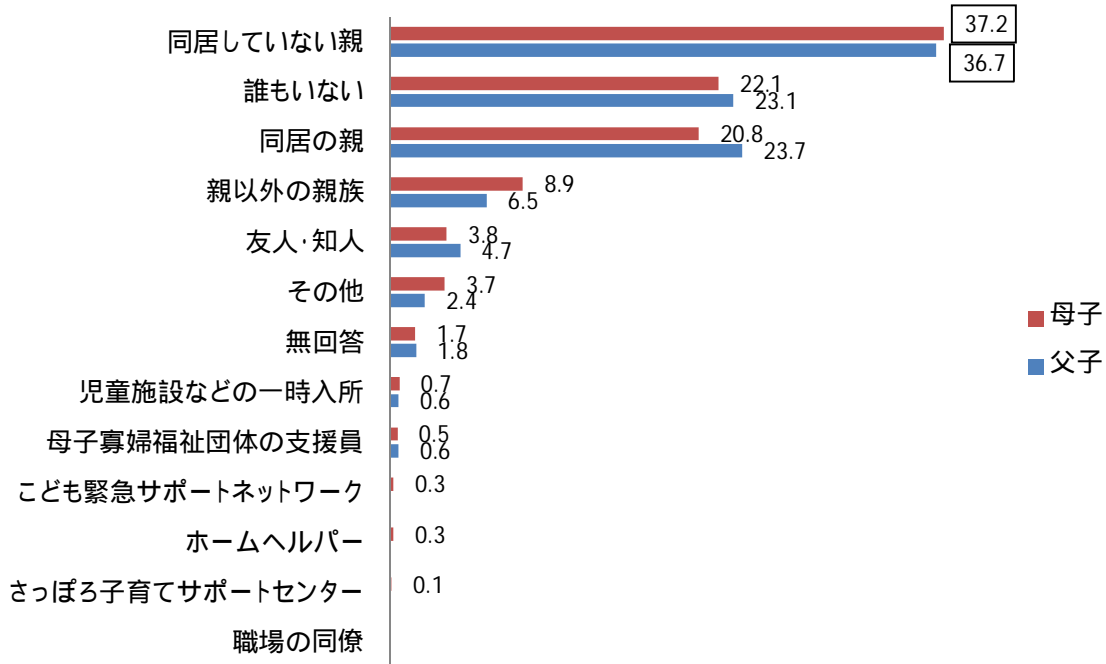
(9) 子ども習い事

習い事について、母子家庭の47.4%、父子家庭の57.8%が習わせていないと最多となっており、続いて学習塾・家庭教師となっている。



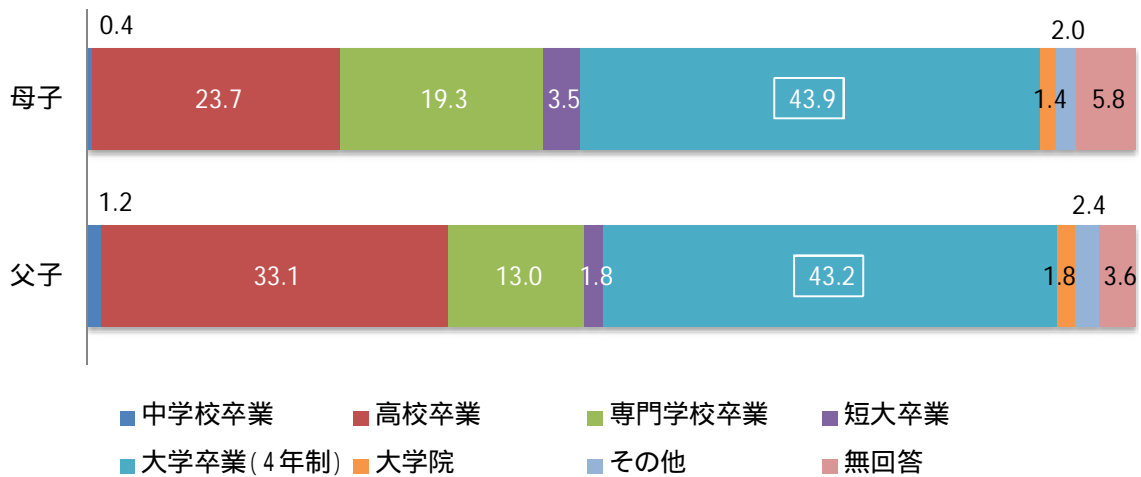
(10) ひとり親が病気等の時の世話をする方

ひとり親が病気の時に身の回りや子どもの世話をする方については、母子家庭で37.2% (34.6%)、父子家庭で36.7%が同居していない親で最多となっており、母子家庭で22.1% (21.7%)、父子家庭で23.1%が誰もい



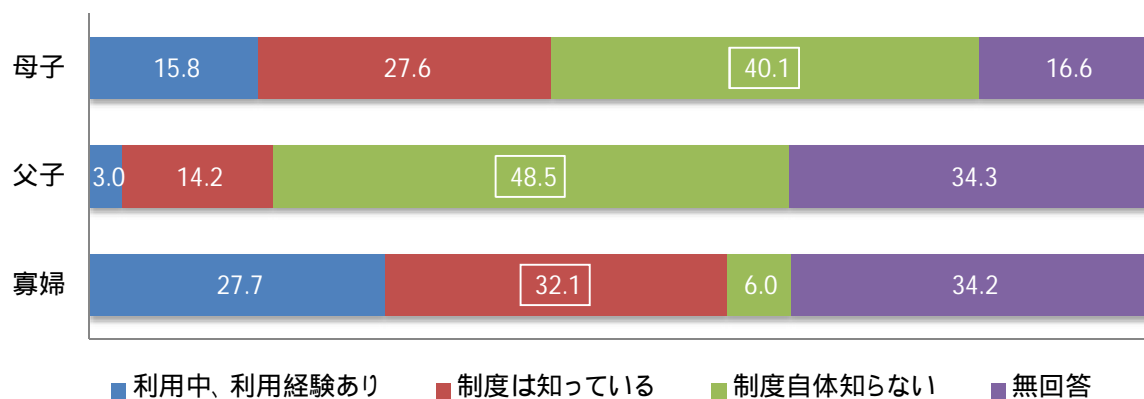
(11) 期待する子どもの最終学歴

母子家庭で43.9%、父子家庭で43.2%が大学卒業を期待しており、高校卒業としている家庭は母子家庭で23.7%、父子家庭で33.1%となっている。

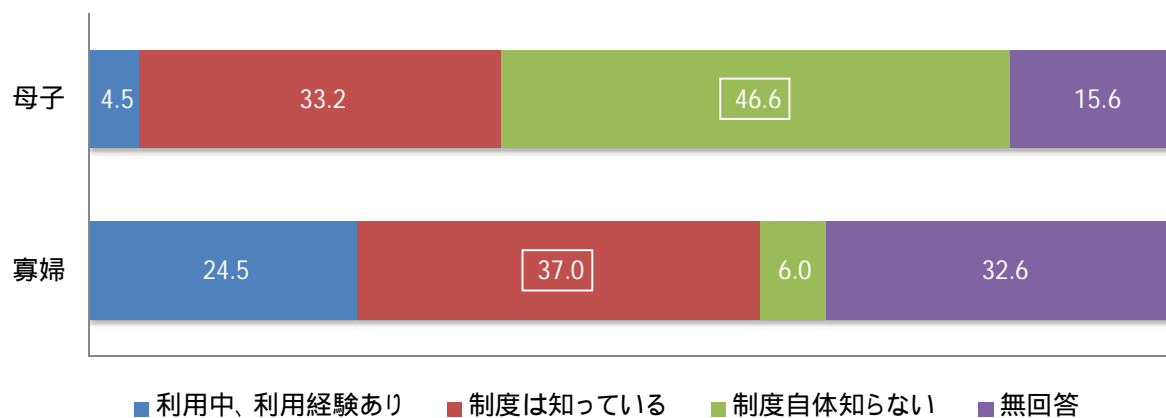


7 公的制度の利用と認知の状況

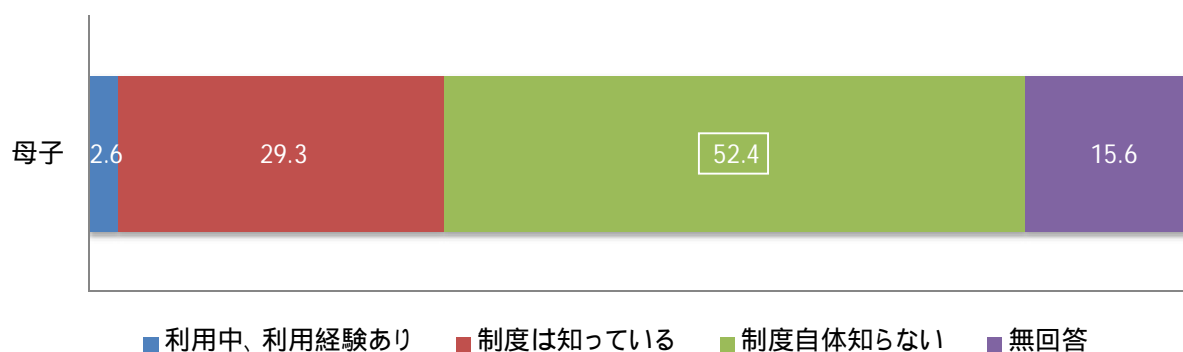
(1) 区役所の母子・婦人相談員



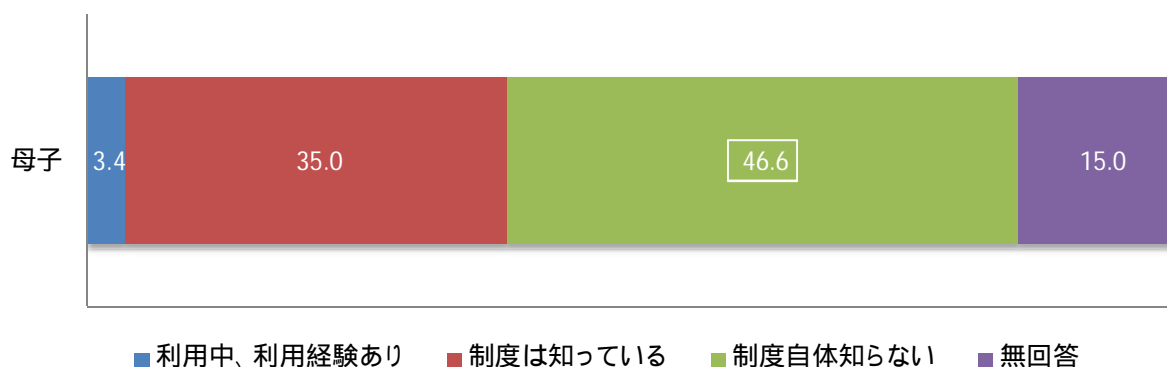
(2) 母子寡婦福祉資金貸付



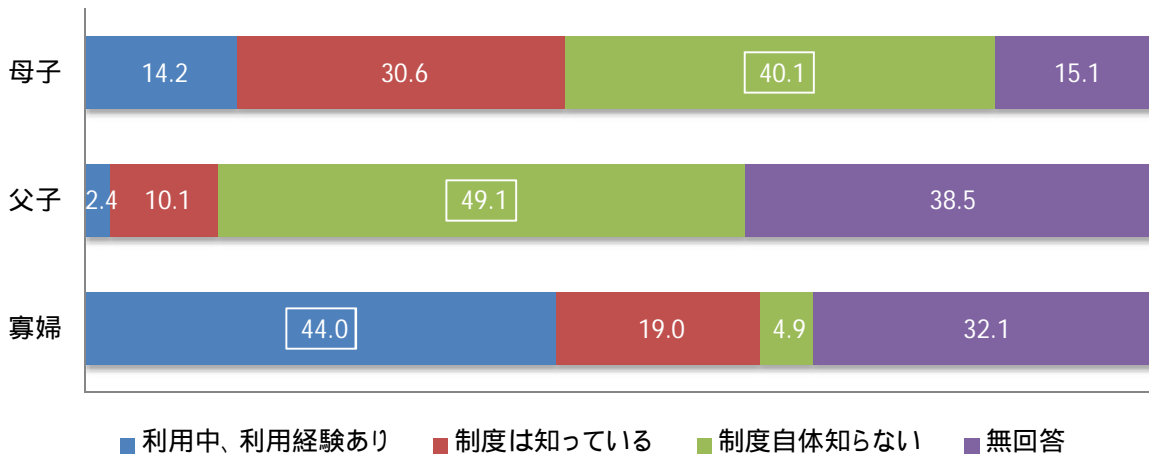
(3) 自立支援教育訓練給付金



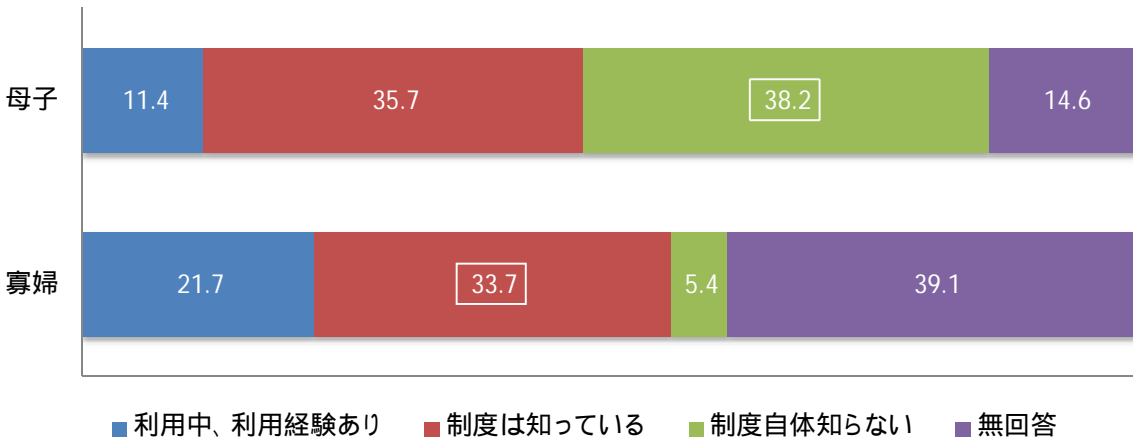
(4) 高等技能訓練促進費



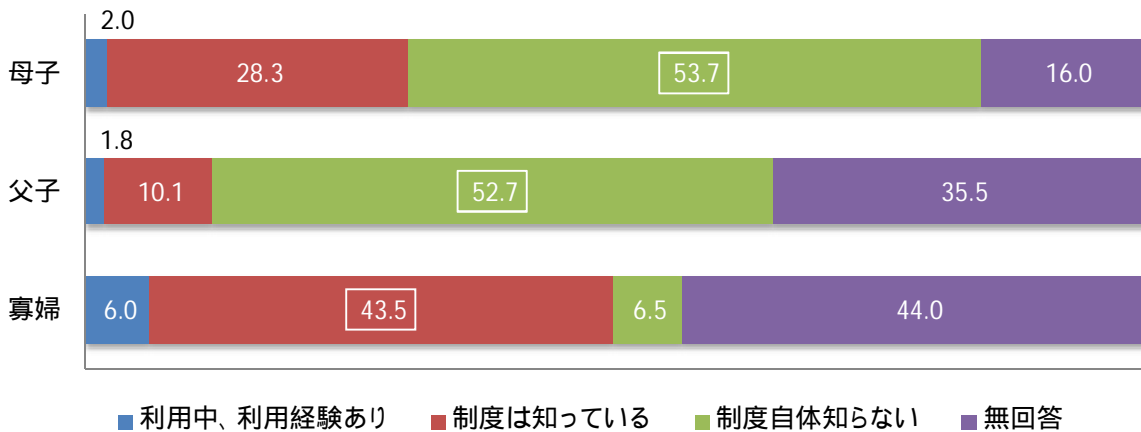
(5) 母子寡婦福祉センター



(6) 母子家庭等就業支援センター

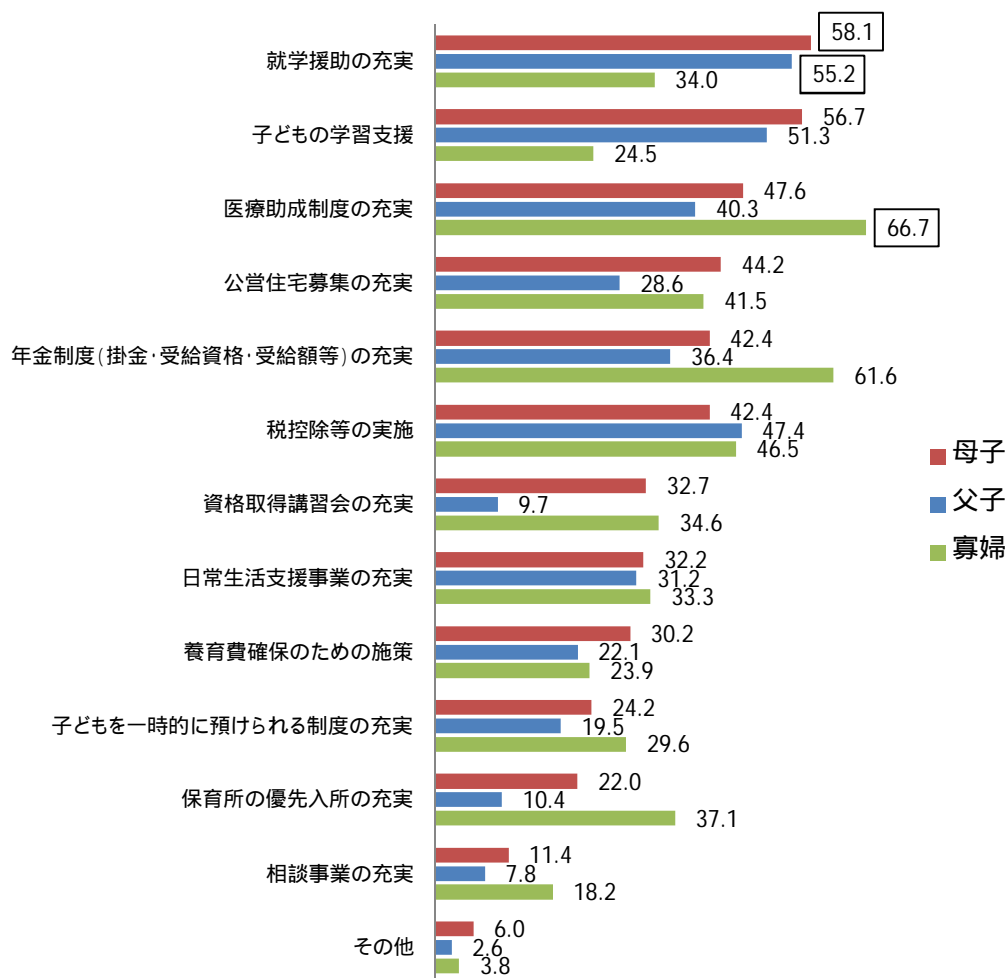


(7) 母子家庭等日常生活支援事業



8 行政への要望

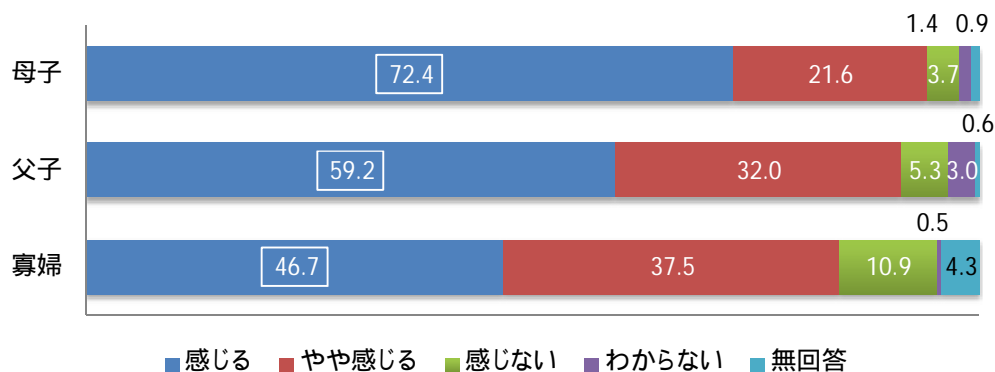
母子家庭で58.1% (51.0%)、父子家庭で55.2%が就学援助の充実として最多となっており、続いて子どもの学習支援が母子家庭で56.7%、父子家庭で51.3%となっている。寡婦では、66.7% (43.7%)が医療助成制度の充実とし最多となっており、続いて61.6%



9 その他

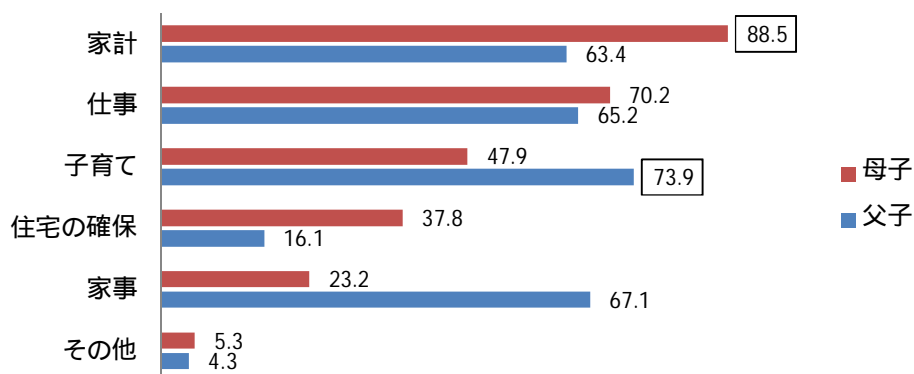
(1) 今後の生活(経済的・子育て等)に対する不安

これからの生活に不安を感じる方、やや感じる方を合計すると母子家庭で94.0% (95.3%)、父子家庭で91.2%、寡婦で84.2%(85.7%)の方が今後の生活(経済的・子育て等)の不安を感じている。



(2) ひとり親家庭になったときに困ったこと

ひとり親家庭になった困ったことは、母子家庭で家計が88.5%(74.8%)と最多で、父子家庭では子育てが73.9%と最多となっている。



(3) 現在困っていること

現在困っていることは、母子家庭で家計が76.8%、父子家庭で家計で65.2%と最多となっており、寡婦では自分の健康が60.5%と最多となっている。

